

第45期
事業報告書

令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで

一般社団法人 環境創造研究センター
愛知県名古屋市東区東桜二丁目4番1号

第 45 期〔令和 2 年度〕事業報告

当センターは、昭和 51 年に愛知県知事認可法人として、地域における自然・社会の複合的環境に関する科学的研究を行うとともに、その体系化の確立と普及を図り、望ましい人間環境の保全と創造に寄与することを目的として設立され、その後、平成 25 年に一般社団法人へと移行し、丸 8 年が経過しました。

また、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成 15 年に愛知県知事より「愛知県地球温暖化防止活動推進センター」の指定、その後、平成 20 年、25 年に再指定、さらに、平成 30 年 3 月に向こう 5 カ年の指定を受け、地球温暖化に関わる情報の発信や地球温暖化防止活動の支援など、愛知県における地球温暖化防止活動の拠点としての役割も担い、現在に至っております。

さらに、平成 30 年 4 月に続き、令和 3 年 3 月に環境省中部地方環境事務所より、「中部環境パートナーシップオフィス(EPO 中部) 運營業務」の請負団体として採択され、現在、中部管内の環境保全に係わる活動や ESD・SDGs に関わる活動に取り組む方々を支援する事業も鋭意実施中です。

令和 2 年度[第 45 期]は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けながらも、公益目的事業としての機関誌「環境」の発行や講演会・セミナー等の開催を通して、環境に関する情報を発信することで、地域住民や事業者等に対し、環境に関する今日的テーマの普及・啓発を推進することに努めてきました。また、地球温暖化防止活動の拠点として、県内の住民や事業者の地球温暖化防止活動の活性化に向けた各種事業を実施することができました。

これからも、公益目的事業、及び受託事業等の更なる実施に努めながら、持続可能な地域社会の構築を目指し、環境の保全と創造のため、住民や事業者に向けた地道な普及啓発活動を継続的に行うとともに、住民及び事業者と行政の連携、協働による取り組みの推進役としての役割を担ってまいります。

I. 事業の実施状況

(1) 公益目的事業1 (機関誌「環境」)の発行【定款第4条第1項の(5)】

項目	事業内容 (敬称略)
会員の状況	正会員数44名(個人:40名,法人:4名) 機関誌「環境」定期購読者9名 (令和3年3月31日現在)
機関誌等の発行	<p>『環境』153号 令和2年7月15日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録1. いいね!が広がる温暖化防止活動 (京都府地球温暖化防止活動推進センター事務局長 木原浩貴) ・身近な自然を楽しむ 「ブダイ釣り」(釣り人 工藤秀和) ・講演記録2. SDGsに貢献する地域循環共生圏づくり (環境省中部地方環境事務所 環境対策課主査 西田清紀) ・講演記録3. 賢い選択こそ環境文化を育む ～COOL CHOICEをきっかけとしたSDGs人創り～ (EPO中部・中部地方ESD活動支援センター 原理史) ・愛知県環境部重点施策 ＜令和2年度 愛知県環境局の主要事業＞ <p>『環境』154号 令和2年12月21日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録1. 探究×SDGs ～『国連・ESDの10年』の経験を活かし、SDGsの本質に向き合う～ (東京都市大学大学院環境情報学研究科 教授 佐藤真久) ・講演記録2. 環境で地方を元気に!～地域循環共生圏の創造に向けて～ (環境省中部地方環境事務所 環境対策課課長補佐 曾山信雄) ・講演記録3. 再生可能エネルギーと地域内循環 (郡上エネルギー(株)、(株)郡上割り箸 代表取締役 小森胤樹氏) ・寄稿 環境法特論・講義録～その1～ (名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則) <p>『環境』155号 令和3年3月28日発行(発行部数:400部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演記録1. 愛知県における地球温暖化対策の取組み (愛知県環境局地球温暖化対策課 担当課長 大谷真弓) ・講演記録2. ESDによる地域創生～ESDの持つ地域創生力～ (立教大学 教授 同ESD研究所 所長 阿部 治) ・講演記録3. SDGsチェックリスト活用セミナー(オンラインセミナー) (EPO中部・中部地方ESD活動支援センター 原理史) ・寄稿 環境法特論・講義録～その2～ (名古屋産業大学大学院 非常勤講師 児玉剛則) ・報告 北海道幌延の幌延深地層研究センター見学 (愛知県地球温暖化防止活動推進センター 中尾嘉文)

(2) 公益目的事業2 (講演会及びセミナー等の開催) 【定款第4条第1項の(4)】

項目	事業内容 (敬称略)
講演会・セミナー	<p><環境創造・環境共生講演会></p> <p>○開催予定：令和2年6月下旬(前期総会後の講演会) (新型コロナウイルス感染拡大のため、中止)</p> <p>○開催：令和3年1月29日(会場、及びオンライン開催) 共催：愛知県環境局地球温暖化対策課 会場：ウインクあいち(参加者58名：会場36名、オンライン22名)</p> <p><講演1> 講師 中部大学中部高等学術研究所 所長 福井弘道氏 演題 「気候変動と防災」</p> <p><講演2> 講師 中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部) 原 理史氏 演題 「意識をそっと一押し ～普及啓発におけるナッジの活用～」</p> <p><講演3> 講師 愛知県環境局地球温暖化対策課 担当課長 大谷真弓氏 演題 「愛知県における地球温暖化対策の取組み」</p> <p>○開催：令和3年3月22日(会場、及びオンライン開催) 会場：ウインクあいち(参加者57名：会場33名、オンライン24名)</p> <p><講演> 講師 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 香坂 玲氏 演題 「愛知・名古屋から考える農林業のテロワール(風土)・土地利用：生物多様性条約・ポスト愛知目標を見据えてSDGsへ」</p> <p><愛知県地球温暖化防止活動推進センター講演会></p> <p>○開催予定：令和2年7月上旬(運営委員会・総会後の講演会) (新型コロナウイルス感染拡大のため、中止)</p> <p><その他講演会・セミナー(推進員セミナー関連)></p> <p>○開催：令和2年10月23日 会場：ウインクあいち(参加者37名) 話題提供1：「再生可能エネルギーと地域内循環」 講師：郡上エネルギー(株)、(株)郡上割り箸 代表取締役 小森胤樹氏 話題提供2：「意見交換会と事務局からのお知らせ」</p> <p>○開催：令和2年12月10日 会場：ウインクあいち(参加者33名) 話題提供1：「意識をそっと一押し『ナッジ』とは？」 講師：中部大学中部高等学術研究所 原 理史氏 話題提供2：「普及啓発実務者のための『ナッジ』活用チェックノート」 講師：メディアリーフ(株) 代表取締役 景山 潔氏 アルマス・バイオコスモ研究所 代表 水上聡子氏 ワークショップ：「『ナッジ』チェックノート活用&検証WS」 コーディネーター：原 理史氏 ファシリテーター：景山 潔氏、水上聡子氏</p> <p>○開催：令和3年2月12日 会場：ウインクあいち(参加者51名) 話題提供1：「2050年ゼロカーボン・ロードマップ試案」 講師：名古屋大学 名誉教授 竹内恒夫氏 意見交換：「質疑応答と事務局からのお知らせ」</p>

(3) その他事業 (受託事業・補助事業など) 【定款第4条第1項の(1)、(2)、(3)】

<受託事業>

受託先	件名	内容
環境省中部 地方環境事 務所	令和2年度 中部環境パート ナーシップオフィス (EPO 中 部) 運営業務	環境省「EPO 中部」の管理運営を行う業務であり、主に以下の事業を実施。 ①EPO 中部の事務所の管理及び運営等基本業務、②EPO 中部、及びESD センターの各運営会議の設置開催業務、③協働取組に関する業務、④中部ESD 活動支援センター運営業務、⑤地域循環共生圏創り事業支援業務、⑥EPO 中部における過年度実績整理業務、⑦SDG s 環境教育関わる支援業務
愛知県	令和2年度 地球温暖化防止 活動普及啓発事業 (*)	愛知県の地球温暖化対策を強化・推進し、県民運動「あいち COOL CHOICE」を盛り上げることを目指し、以下の普及啓発事業を実施。 ①地球温暖化防止活動推進員の支援、②地球温暖化対策地域協議会の支援、③「ストップ温暖化教室」事業の調整・運営、④自治体主催イベント・ブース出展」事業の支援、⑤「夏休み！エコアップ大作戦」事業の企画・運営
愛知県	令和2年度 環境学習コーデ ィネート等業務	愛知県内の環境学習の実施にあたり、講師や活動場所等の提供を受けたい主体と、これら環境学習を提供したい主体との円滑なマッチングを実施。 各主体が連携・協働し、環境学習を円滑に実施するため、環境学習の相談業務5件、コーディネート業務5件を実施。【EPO 外部資金事業】
日進市	令和2年度 につしん省エネ 倶楽部「COOL CHOICE 事業」 業務	環境省の「地方公共団体と連携したCO2 排出削減促進事業」を活用した業務委託であり、日進市の「省エネ倶楽部活動」として、低炭素地域づくりに向けて以下の事業を実施。 ①未来への語り部による「茶飲み話会」の開催、②高校生ESD ワークショップの開催、③高校生による子ども省エネ教室の開催、④エコ外出マップ作成ワークショップの開催、⑤エコモビリティの関するセミナーの開催、⑥地元販売店によるエコモビ推進キャンペーンの展開、⑦子ども省エネ教室の開催、⑧「エコライフ検診」の実施、⑨新規転入者への普及啓発の実施
豊田市	令和2年度 環境教育用教材 改訂業務	過年度に、豊田市の「環境の保全を推進する協定協議会」の部会が作成した環境に対する取組や環境法令順守に関する環境教育用教材の改訂を実施。 改訂した教材は、「大気汚染・悪臭」(A4、36P)と「騒音・振動」(A4、36P)の2種類で、それぞれの部会の修正案に基づき、教材の編集及び紙面デザインの再構成を行い、各500部印刷。

受託先	件名	内容
中部電力(株) 名古屋支店	令和2年度 エネルギー関連 施設見学企画・運營業務	学生や一般市民に、エネルギー全般について共に考える場を提供することを目的に、エネルギー関連施設の見学会の企画・運営を4回実施予定であったが、新型コロナ感染拡大防止の為、中止。
東邦ガス(株)	生物多様性、及びビオトープ 関連の環境学習用教材の改訂 業務	過年度(H25年度)に当センターが策定した環境学習用教材の2種類のパワーポイントを改訂。 「生物多様性」に係わるパワーポイントの修正、及び「ビオトープ」に係わるパワーポイントの修正を実施。
木曾岬メガ ソーラー(株)	令和2年度 木曾岬メガソー ラー環境学習支援業務	木曾岬メガソーラー(株)が木曾岬干拓地に建設したメガソーラー発電所は敷地面積78ha(ナゴヤドーム約20個分)にパネル約20万枚を張り詰め、1年間で一般家庭14,500世帯分の電力を発電。 同発電所を円滑に運営・推進するためには、地域の理解・協力が必要不可欠であり、地元の愛知県弥富市及び三重県木曾岬町、桑名市長島町の小・中学校に対する環境学習の支援を実施。 また、地元県民・自治体等に対する地域貢献に関する事業として、「産業振興」に資する事業、その他、地域活性化に資する「独自提案」に関する事業を実施。
独) 環境保 全再生機構	「令和2年度 地球環境基金 助成金説明会」の開催に係る 業務	中部地域における「令和2年度地球環境基金助成金説明会」をオンラインで開催。 併せて、オンラインで、過年度の中部における地球環境基金助成活動の紹介を2事例実施。 【EPO 外部資金事業】
東京海上日 動(株)/日本 NPO センタ ー	「令和2年度 グリーンギフ ト地球元気プログラム事業」 運営支援業務	東京海上日動(株)がCSR事業として実施している「グリーンギフト地球元気プログラム事業」の運営支援を実施。 中部地域では、愛知県(もりの学舎自然学校)、福井県(小原ECOプロジェクト)、三重県(Joint Plus)の3事業の地域活動団体等を支援。 令和2年度は、新型コロナ感染拡大防止の為、三重県で2イベント、福井県で1イベントのみを実施。 【EPO 外部資金事業】

<補助事業>

補助元	件名	内容
環境省／全国センター	令和2年度 地域における地球温暖化防止活動促進事業（愛知県センター）（*）	<p>温対法に基づき、地域における地球温暖化防止活動の基盤を形成するとともに、低炭素社会の構築を目指す活動促進業務。</p> <p>通常事業として①「地球温暖化対策に関する啓発・広報」、②「地球温暖化防止活動推進員の支援」、③「民間団体等の実態把握と支援」、④「温室効果ガスに関する相談・助言等」、⑤「排出実態の把握・分析」、⑥「連絡調整会議の設置と開催運営」を実施。</p> <p>令和2年度は、「特別提案事業～『ナッジ』など行動科学の知見を活用した普及啓発事業計画チェックツール（仮称）」の作成と公開～」が採択され、「意識をそっと一押し～ナッジ活用チェックノート～」（A4版、12P冊子）を作成し、Web公開。</p>
経済産業省／環境共生イニシアチブ	令和2年度 省エネルギー相談地域プラットフォーム構築事業	<p>西三河地域首長誓約協議会の3市に省エネ相談地域プラットフォームを構築し、12事業所の省エネ相談に対応。</p> <p>省エネ相談では、中小企業等の省エネ診断の実施や運用改善、設備更新など、省エネ活動のPDCAサイクル実施に向け、取組みへの誘導・支援を実施。</p> <p>具体的には、相談窓口の設置・運営、広報活動、省エネ相談・支援の実施、中小企業向け省エネ実践セミナーの実施（全3回）、社員研修等の実施、省エネ診断の案内や実施事例の紹介等を実施。</p>

<助成事業>

助成元	件名	内容
（独）環境保全再生機構	令和2年度 地球環境基金助成事業	<p>調査研究名～「COOL CHOICE」普及啓発に資する「ナッジ」の応用手法の研究と適用～として採択。</p> <p>3か年計画の内、3年目の令和2年度は、以下の事項を実施。</p> <p>①1年目・2年目の分析評価に基づき、様々な種類の普及啓発における応用可能なナッジ手法を整理し、活用のための枠組みを構築。2年目のガイド暫定版を元に、「意識をそっと一押し～ナッジ活用ガイド～」（A4版、24P冊子）を作成し、Web公開。</p> <p>②「中部 COOL CHOICE 普及啓発促進研究会」で普及啓発活動を推進。ナッジ研究会の開催（全2回）</p> <p>③専門家WGでガイド検討。WGの開催（全4回）</p> <p>④各県地域センターの普及啓発事業において、アンケート調査による効果検証を実施。</p>

備考) (*）印は、愛知県温暖化防止活動推進センターの指定に伴う事業。

Ⅱ. 総会・役員会等の開催状況【定款第4章、第6章】

項目	開催状況
総会の開催	<p><総会></p> <p>第88 通常総会〔令和2度前期〕<書面議決> 開催：令和2年6月10日～30日 会場：—(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面議決)— 議案：令和元年度〔第44期〕事業報告案について 令和元年度〔第44期〕決算報告案について 書面議決承認：会員44名の内24名（未回答20名）</p> <p>第89 通常総会〔令和2度後期〕 開催：令和3年3月22日 会場：ウインクあいち 議案：令和3年度〔第46期〕事業計画案について 令和3年度〔第46期〕収支予算案について その他 出席者：会員44名の内25名(うち委任状：20名)</p>
役員会の開催	<p><理事会（役員会）></p> <p>令和2年度前期理事会（書面議決承認：6名/6名） 開催：令和2年5月25日～6月10日 会場：—(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面議決)— 議案：令和2年度(前期)通常総会の書面議決開催について 令和元年度〔第44期〕事業報告案について 令和元年度〔第44期〕決算報告案について</p> <p>令和2年度後期理事会（出席者：5名/6名） 開催：令和3年2月18日 会場：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部） 議案：令和2年度(後期)通常総会の開催について 令和3年度〔第46期〕事業計画案について 令和3年度〔第46期〕収支予算案について その他</p>
企画委員会の開催	<p><企画委員会></p> <p>令和2年度第1回企画委員会(出席者：6名) 開催：令和2年12月15日 会場：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部） 内容：意見交換 (1) 令和2年度の業務実施状況について (2) 「EPO 中部運營業務」について (3) 「愛知県地球温暖化防止活動推進センター業務」について</p> <p>令和2年度第2回企画委員会(出席者：6名) 開催：令和3年3月18日 会場：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部） 内容：意見交換 (1) 現在の業務実施状況について (2) 今後の運営方法について</p>